

〈信仰の遺産〉

ヨシュア記 24 : 14 ~ 15



「朝の祈り」

＊林竹治郎（1871-1941）とその家族

【ヨシュア】

- ・偉大なリーダー、モーセの後を引き継いでヨルダン川を渡り、民を約束の地（カナンの地）へと導き上った。
- ・「神に召しだされた自分たち民族のルーツ」をアブラハムの時代までさかのぼり語った。

ルーツ・・・「ルート」の複数形。「発祥・根源、物事の根元」という意味。

異教の神々を拝み、悪習慣の影響が根強く残るカナンの地！

自分たちをエジプトから連れ上った真の神から離れて、神の祝福から決して漏れることがないように！

あなたがたは、モーセの律法の書に記されていることを、ことごとく断固として守り行い、そこから右にも左にもそれてはならない。 ヨシュア記 23 : 6

- ◆ 私たちの生活もカナンの地のような、神に背を向けた「この世の価値観」に満ちた場所にある。

ヨシュアは一同を「シェケム」に集めた。

シェケム・・・民のルーツに深く関係のある場所

① アブラハムが「あなたの子孫にこの地を与える」と神から約束をもらった時に祭壇を築いた場所

② ヤコブが身を隠していた叔父ラバンの元から帰郷した時、祭壇を築いた。
ここにヨシュアは500年以上もたって、出エジプトからずっと携えてきたヨセフを埋葬した。

イスラエル人がエジプトから携え上ったヨセフの骨は、シェケムの地に、すなわちヤコブが百ヶシタでシェケムの父ハモルの子らから買い取った野の一画に、葬った。そのとき、そこはヨセフ族の相続地となっていた。 ヨシュア記 24：32節

◆ 民のルーツの深い地、シェケムでヨシュアが先ず語ったのは、
主がこれまで自分たち民に与えて下さった数々の恵み！！

わたしは、あなたがたが得るのに労しなかった地と、あなたがたが建てなかった町々を、あなたがたに与えたので、あなたがたはそこに住み、自分で植えなかったぶどう畑とオリーブ畑で食べている。

【13節】

今得ている全ては、自分の力で得たのではなく、主なる神が与えて下さったもの！
これは私たちの人生においても言えること。

◆ 神が与えられた大いなる祝福が、自分の世代だけではなく、次の世代である子どもたちにも、しっかりと受け取っていけるように。

私と私の家とは、主に仕える。